


整理番号	HT30031	分野	その他	キーワード	科学教育
------	---------	----	-----	-------	------

研究機関名	福島大学				
プログラム名	100年前の実験に挑戦！～音はどうやって伝わるか？ 〇〇電話で試してみよう～				
先生(代表者)	岡田 努(おかだ つとむ)				
自己紹介	総合教育研究センター教授。 将来、学校の先生になりたい大学生の皆さんのお手伝いをしています。「理科が苦手です」という人たちに気軽に体験してもらえそうな実験や工作プログラムを考えています。理科と歴史を結びつけて、科学と人間の関わりを描いています。				
開催日時・募集対象	平成30年7月14日(土)	受講対象者	小学5年生 小学6年生	募集人数	20名
集合場所・時間	福島大学 総合教育研究センター 特別教室		(集合時間)	10:00	
開催会場	福島大学 総合教育研究センター 特別教室 住所: 〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地 アクセスマップ URL: https://www.fukushima-u.ac.jp/access/				
内 容					
<p>【目的】学校で学ぶ理科の学習内容について、歴史との関わりで考えさせ、観察・実験・工作等の体験を通して学ぶことで人間と科学の関わりについて理解を深める。</p> <p>【講座内容】「100年前の実験に挑戦！」科学史のエピソードを画像や動画を用いて解説、その後関連する観察・実験・工作を体験させる。</p> <p>(1)【工作①】糸電話は最初は糸電話ではなかった？石井研堂の「送話器」を作ろう 石井研堂が著書『理科十二ヶ月』の中で紹介した「送話器」を制作します。 ※和紙・デンプン糊などを使用するので乾くまで時間がかかります。乾かしている間に昼食。</p> <p>(2)【工作②】現代版糸電話、いろいろな「〇〇電話」を作ろう (例)バネ電話 風船電話、鶏コップ 巨大紙コップで作る糸電話。 欧米のサイエンスセンターにおける「音」に関する展示物の作成 他。</p> <p>【講義】ヨーロッパ、ニュートンの時代の金属線。日本では明治時代に電話が普及していなかった時代の糸電話について</p>					
スケジュール				持 ち 物	
10:00～10:30 受付(福島大学 総合教育研究センター2階入り口付近)				筆記用具	
10:30～10:45 開講式(あいさつ・オリエンテーション・科研費の説明)					
10:45～11:45 (1)工作①:糸電話は最初は糸電話ではなかった？					
11:45～12:30 昼食					
12:30～13:30 (2)工作②:現代版糸電話いろいろな「〇〇電話」を作ろ					

う！ ミニ講義「人類は音をどのように認識してきたか ～科学の歴史とサイエンスセンターの展示から」 13:30～14:00 クッキータイム 14:00～14:20 修了式(アンケート記入・未来博士号授与) 14:30 終了	特記事項
---	-------------

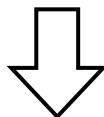
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名：	福島大学研究振興課 東海林 宏(とうかいりん ひろし)
住所：	〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL 番号：	024-548-8009
FAX 番号：	024-548-5209
E-mail：	kyoudo@adb.fukushima-u.ac.jp
申込締切日：	平成30年6月25日(月)

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月2日(月)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
岡田 努	H20-22	基盤研究(C)	20500772	「世界史」との関連を重視した理科教材の開発研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。